

Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
2021～2022年度 シェアール・メータ RI会長テーマ

## WEEKLY BULLETIN

2021年10月7日(3395例会)(創立70周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3309

■呉RC 2021～2022年度テーマ 「みんな(全員参加)で呉ロータリーを盛り上げよう」

会 長 福田 多喜二  
副 会 長 佐々木 英夫 幹 事 岩 本 貴 紀 会長エレクト 増 岡 真 一  
直前会長 長 尾 正 嗣 会 計 廣 江 裕 治 会場監督 大 塩 俊

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル  
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120  
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30  
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

## 今週のメインプログラム

国際奉仕委員会

担当例会

「洪 丞昱さんの卓話」

2021 学年度米山奨学生 洪 丞昱様

## 次週のメインプログラム

10月14日(木) 例会休会

10月21日(木) 呉RC電子化特別委員会  
担当例会

## 第3394例会記録【8月19日(木)】

- 【プログラム】 ◇会員増強・職業分類委員会 担当例会  
「持続可能なロータリーへ！」＝さらに輝きを増すために＝(ビデオ)  
地区会員増強委員会委員会カウンセラー 西村栄時氏  
2001-02 年度 RI 第 2710 地区ガバナー 岩国西 RC
- 【出席率】 前々回 92.53% 今回 89.39% (会員 69 名・欠席 8 名・免除 3 名)
- 【来客】 ◇Rotary Club of Kuala Lumpur DiRaja 阿部乙彦様  
御茶ノ水 RC 出身でマレーシアに移住しました。東南アジアにお越しの際にはお立ち寄りください。  
◇2021 学年度ロータリー米山奨学生 洪 丞昱様  
◇大之木精二君・増岡真一君のご同伴者…中国電力ネットワーク株式会社 呉ネットワークセンター  
所長 和田政彦様
- 【欠席者】 ◇稲葉・宇都宮(五)・畦・海生(知)・坂田・佐藤・武田(信)・増岡君 8名
- 【出席免除者】 ◇奥川・海生(孝)・三木君 3名
- 【会長報告】 ◇まん防発令につき来週以降9月2日まで例会は休会となります。残念ながら感染防止を最優先とします。
- 【幹事報告】 ◇RI…Rotary 8月号  
◇(公財)ロータリー米山記念奨学会…ハイライトよねやま 257  
◇国際ロータリー第2710地区事務局…「決議審議会決議案及び規定審議会制定案提出」の依頼  
◇2021-22 地区大会実行委員会 曾利委員長…2021-22 RI2710 地区 地区大会実行委員会事務局開設のご案内  
◇呉東ロータリークラブ…例会取消のお知らせ。8/18(水)、8/25(水)定款第7条第1節(d)の(3)により例会取消といたします。
- 【委員会報告】 ◇出席・プログラム委員会 大之木小兵衛委員長…7月出席報告(7月平均83.84%)  
◇ロータリー情報・研修委員会 島村委員長…ロータリーの友8月号のご紹介  
◇ロータリー財団委員会 明神委員長…100万ドルの食事についての説明

## 【S.A.A】ニコニコ



- ◇福田多喜二君…8月8日郷原CCで行われた月例でC組(ハンデ20～36)で優勝しました。一昨年より運動不足解消とゴルフの上達を目指しております。同伴していただきましたSさんありがとうございます。また優勝目指して頑張ります。
- ◇住田佳樹君…8月10日に横浜に住む長女に第一子をさずかりました。初孫です。この日は3年前に亡くなった真鍋の誕生日と同じです。あの世から我々にエールを送ってくれたような気がします。すぐにも孫の顔を見たいのですがコロナの影響で会えるのはもう少し先になりそうです。
- ◇大島淳稔君…8月17日次男の祥嵩に次男が生まれました。これで孫が4人になりました。
- ◇菅原博文君…入会当初は小さな出来事にも喜んでニコニコしていましたが、ここ一年余りは参加してなく無感情に生きている自分に気付き反省。今日は平穏な日々に感謝してニコニコします。ありがとうございます。

# 自己紹介と今後の抱負



2021学年度米山奨学生 洪 丞昱 (ホンスンウク)

この度、米山奨学生としてこちらの呉ロータリークラブの様々な活動に参加させていただくことになりました広島大学のホンスンウクと申します。いつも優しく接して下さっている会員のみなさま、そして何よりもこの未熟な私の面倒を見てくださっているカウンセラーの奥原さんには、心よりご感謝申し上げます。この場を借りて、私が留学に至った経緯、そしてこれからの抱負についてお話させていただければと存じます。

もう5年も経ちましたが、私は今にも交換留学のことをはっきりと覚えています。なんと、あんなに頑張っただけなのに「丁寧な落語家っぽい」と言われ、しばしば浮いてしまうことが引き続き起こった交換留学の時の恨みを晴らすために、日本の大学院の日本語教育学プログラムに進学することを決意したのです。

しかし、大学院に進学して研究をすればするほど、言葉ではうまく説明できない違和感を覚えてしまうことが段々増えてきました。ただの勉強不足だと適当に流していましたが、まるで肝心なところが丸ごと抜けているのに気づかず出してしまった期末レポートのような、後味の悪いこの気分はなんだろうと、ずっと悩んでいたのです。このまましばらく解決できないと思っていましたが、ひょんなことからその違和感の正体を知る事ができました。

1年前にブラジルから来たA君の日本語学習をサポートしたことがありますが、いきなりA君に「なんでこんな宿題やらないといけないの」と言われたことがあります。かなり論理的に説得してきましたが、当時私は、「そんなの大人の事情だからだらだら文句言わずやって」と適当にごまかすことしかできませんでした。その後、今までの研究の中で、肝心な日本語学習者の要因を考慮していなかったことが違和感の原因だということが分かって、現在はどうすれば本当に日本語を勉強している人たちの役に立つ研究ができるか今にもずっと考えています。

この点からみると、今回米山奨学生になったのはものすごく幸運だと思います。いつも優しく接して下さっている会員のみなさん、そして、大変な時に相談に乗ってくださるカウンセラーの奥原さんのように、率先して他人のためにどうすればいいのかを教えていただけることはもちろん、例会で教わった奉仕の精神は、多様な学習者の様々な要因を少しでもより深く理解することができる資源になっているからです。

まだまだ未熟なのですが、これからも頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします！